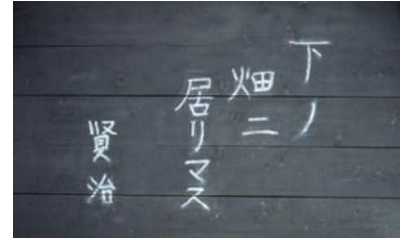


校長室より

暗唱だより
令和5年9月
第三吾嬬小学校長
川中子 登志雄



長い夏休みもあと三日となりました。毎日暑い日が続いていますが、皆さんお元気ですか。今日も、夏休みのプールに参加している人もたくさんいますね。もうすぐ学校も始まりますが、9月の暗唱課題は、宮沢賢治の「風の又三郎」を選びました。

この童話は、宮沢賢治の代表作の一つで、賢治が亡くなった翌年の1934年に発表されました。



宮沢賢治

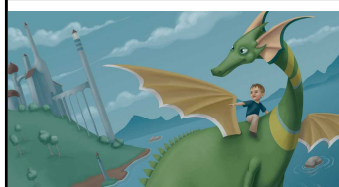
先生からそれを聞くと、「やっぱりあいつは風の又三郎だった」と言い合うのでした。

《あらすじ》

夏休み明けの9月1日の風の強い日に、谷川の岸にある小さな田舎の小学校に、都会から不思議な少年が転校してきました。転校生は高田三郎といい、赤い髪の毛で、東京の言葉を使う不思議な子どもです。三郎はクラスみんなに、風の神の子（風の又三郎）ではないかとうわさされます。はじめこそ距離を置かれていた三郎ですが、次第にみんなと仲がよくなっていきました。ぶどうを取りに行ったり、川へ泳ぎに行ったりして、みんなは三郎と遊びます。けれども12日目に、三郎はまたお父さんと一緒に違う学校へ行ってしまうました。クラスの友達は

この作品は、特に出だしの「どっどど どどうど どどうど どどう 青いくるみも吹きとばせ すっぱいかりんも吹きとばせ」というくだりが有名です。図書館にもありますのでぜひ読んでみてください。

私はなぜか宮沢賢治が大好きで、賢治の作品や賢治についての研究書を読んだり、テレビの特別番組などもよく見たりしています。今年の春には、賢治が信仰していた日蓮宗の開祖・日蓮の生まれたという安房小湊の誕生寺を訪れたりもしました。（本当は、令和3年・日蓮生誕800年祭という年に訪れたかったのですが、コロナ禍のため行かれませんでした。誕生寺は、賢治とはあまり関係がありませんでしたが…、のどかないいいところでした。）さあ、それでは、9月からの学校も、みんなで楽しい学校にしていましょ！



9, 10月の英語の暗唱は「パフ」

英語の課題は、アメリカのPPM（ピーター・ポール&メアリー）という3人組のフォークグループの歌った歌から選びました。歌はとても有名なので、皆さんも聞いたことがあると思います。